

ちゅうなん

No.66 令和4年10月~12月期

景気動向調査

中南信用金庫 経営情報センター

所在地:伊勢原市桜台1-16-12 ☎ 0120-775-598

全業種総合

回答企業 **315社**(回答率92.6%)

県南西部 116社

県中南部 199社

今
期
の
実
績

業況判断D.I.は△14.1(前期比+7.1)とコロナ禍では最高水準へ!

当金庫の営業地域における企業の景気について、「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた今期の業況判断D.I.は、△14.1と前期に比べ7.1ポイントの上昇となりました。また、ブロック別における今期の業況判断D.I.は、県南西部が△20.7(前期比+5.8)、県中南部が△10.2(同+7.9)となりました。なお、その他の各D.I.の内容は以下のとおりです。

■県南西部

売上額は△15.5(前期比+3.1)とマイナス域に留まるなか、原材料・仕入価格は57.0(同+1.6)と上昇し、収益については△21.6(同+3.0)とマイナス域に留まっています。設備投資実施企業の割合は13.7%。なお、設備の状況は△6.9(同△1.1)と、卸・小売業、サービス業、建設業で不足となり、人手過不足については△19.0(同△8.0)と、不動産業を除く全業種で不足感がみられます。

■県中南部

売上額は5.1(前期比+13.2)とプラスに転じるなか、原材料・仕入価格は48.4(同△8.6)と上昇感が残り、収益については△6.0(同+14.2)とマイナス域ながら改善が見られます。設備投資実施企業の割合は8.9%。なお、設備の状況は△5.6(同△1.8)と、設問がない不動産業を除く全業種で不足となり、人手過不足については△11.6(同△0.5)と、全業種で不足感がみられます。

来
期
の
見
通
し

予想業況判断D.I.は△20.5(今期比△6.4)と厳しさは戻る見通し!

来期の業況判断D.I.は、△20.5と今期に比べ6.4ポイント低下する見通しとなりました。また、ブロック別における来期の業況判断D.I.は、県南西部△28.4(今期比△7.7)、県中南部△15.8(同△5.6)となりました。なお、その他の各予想D.I.の内容は以下のとおりです。

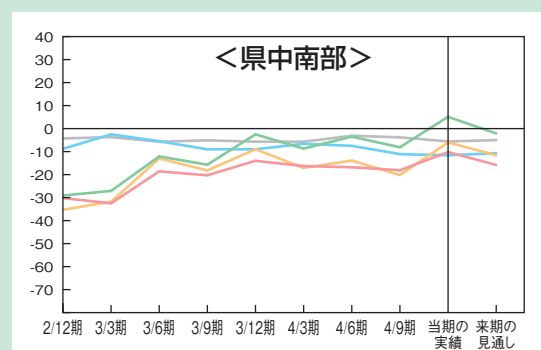
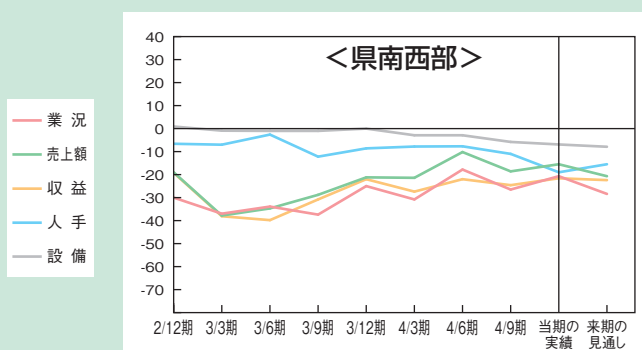
■県南西部

売上額は△20.7(今期比△5.2)、収益についても△22.4(同△0.8)と、ともに低下する見通しです。業況は製造業、卸・小売業、建設業で今期より低下する見通しです。

■県中南部

売上額は△2.1(今期比△7.2)とマイナスに転じる見通しであり、収益については△11.6(同△5.6)と低下する見通しです。業況は建設業を除く全業種で今期より低下する見通しです。

全業種総合D.I.の推移



製 造 業

業況判断D.I.
△22.2

予想業況判断D.I.
△28.6

回答企業 63社 (回答率92.6%)
県南西部 24社 / 県中南部 39社

■県南西部

業況判断D.I.は△41.7(前期比+12.5)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△20.8(前期比+4.2)、収益についても△29.2(同+4.1)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は79.2(同+9.6)と上昇するなか、販売価格については4.3(同△4.8)とプラスを維持しています。人手過不足は△12.5(同△8.3)と不足を示す一方、前期比残業時間は△4.2(同+8.3)と減少を示しています。設備の状況は4.2(同+8.5)と過剰を示し、設備投資実施企業割合は13.0%です。

予想業況判断D.I.は△54.2(今期比△12.5)の見通し!

予想D.I.は、売上額△37.5(今期比△16.7)、収益についても△37.5(同△8.3)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は70.8(同△8.4)と上昇が継続する見通しとなり、販売価格については0.0(同△4.3)と足踏み状態となっています。設備投資実施予定企業割合は13.0%です。

■県中南部

業況判断D.I.は△10.3(前期比△2.8)と停滞!

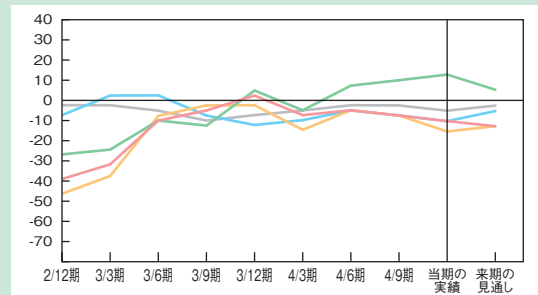
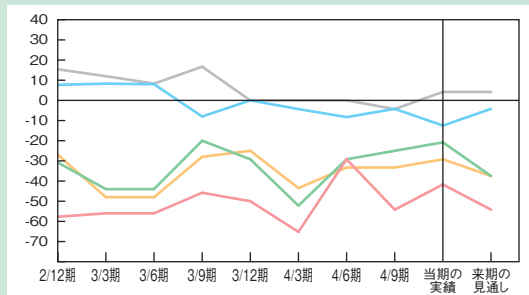
各D.I.は、売上額12.8(前期比+2.8)と上昇するなか、収益については△15.4(同△7.9)と低下しています。原材料・仕入価格は64.1(同△10.9)と上昇感が残り、販売価格についても5.3(同△7.9)とプラスを維持しています。人手過不足は△10.3(同△2.8)と不足を示すなか、前期比残業時間は0.0(同+5.0)と変化がないことを示しています。設備の状況は△5.1(同△2.6)と不足を示し、設備投資実施企業割合は13.5%です。

予想業況判断D.I.は△12.8(今期比△2.5)の見通し!

予想D.I.は、売上額5.3(今期比△7.5)とプラスを維持する見通しとなるなか、収益については△12.8(同+2.6)とマイナス域に留まる見通しとなっています。原材料・仕入価格は53.8(同△10.3)と上昇感が残る見通しであり、販売価格については7.9(同+2.6)と上昇する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は13.5%です。

今期の実績

来期の見通し



卸・小売業

業況判断D.I.
△23.3

予想業況判断D.I.
△30.6

回答企業 74社 (回答率93.7%)
県南西部 33社 / 県中南部 41社

■県南西部

業況判断D.I.は△6.1(前期比+23.3)と回復に向かう!

各D.I.は、売上額△6.1(前期比+13.9)、収益についても△18.2(同+7.5)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は60.6(同△1.2)と上昇感が残り、販売価格については56.3(同+26.9)と上昇しています。人手過不足は△27.3(同△13.0)と不足を示し、前期比残業時間は9.1(同+12.0)と増加を示しています。設備の状況は△6.5(同△0.8)と不足を示し、設備投資実施企業割合は12.5%です。

予想業況判断D.I.は△21.2(今期比△15.1)の見通し!

予想D.I.は、売上額△15.2(今期比△9.1)、収益についても△24.2(同△6.0)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は54.5(同△6.1)と上昇感が残る見通しであり、販売価格についても28.1(同△28.2)とプラスを維持する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は6.2%です。

■県中南部

業況判断D.I.は△37.5(前期比+4.0)と厳しさが続く!

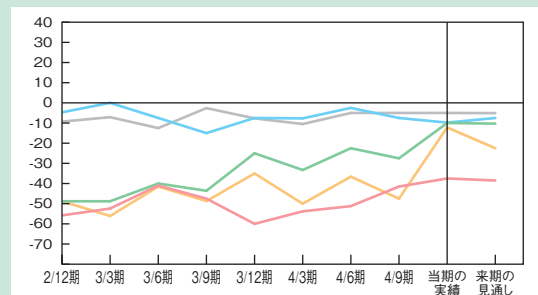
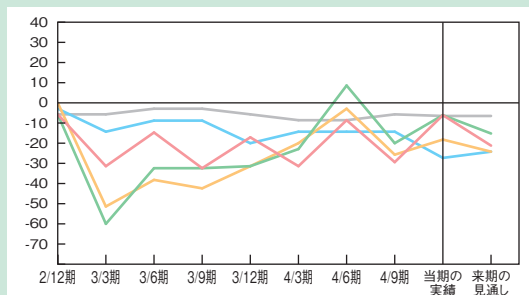
各D.I.は、売上額△10.0(前期比+17.5)、収益についても△12.2(同+35.3)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は65.9(同△12.1)と上昇感が残り、販売価格についても36.6(同△5.9)とプラスを維持しています。人手過不足は△9.8(同△2.3)と不足を示す一方、前期比残業時間は△7.3(同△2.3)と減少を示しています。設備の状況は△5.0(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施企業割合は12.2%です。

予想業況判断D.I.は△38.5(今期比△1.0)の見通し!

予想D.I.は、売上額△10.3(今期比△0.3)、収益についても△22.5(同△10.3)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は57.5(同△8.4)と上昇感が残る見通しであり、販売価格についても27.5(同△9.1)とプラスを維持する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は21.4%です。

今期の実績

来期の見通し



サービス業

業況判断D.I.
△8.5

予想業況判断D.I.
△16.9

回答企業 60社(回答率98.4%)
県南西部 22社/県中南部 38社

今期の実績

■県南西部

業況判断D.I.は△31.8(前期比△4.5)と後退!

各D.I.は、売上額△36.4(前期比△13.7)、収益についても△36.4(同△9.1)と、ともに低下しています。原材料・仕入価格は27.3(同△9.1)と上昇感が残るなか、販売価格については14.3(同+0.7)と上昇しています。人手過不足は△13.6(同+9.1)と不足を示す一方、前期比残業時間は△13.6(同△18.4)と減少を示しています。設備の状況は△13.6(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施企業割合は28.0%です。

来期の見通し

予想業況判断D.I.は△27.3(今期比+4.5)の見通し!

予想D.I.は、売上額△22.7(今期比+13.7)、収益についても△22.7(同+13.7)と、ともにマイナス域に留まる見通しとなっています。原材料・仕入価格は31.8(同+4.5)と上昇する見通しであり、販売価格については14.3(同±0.0)と今期並みに上昇する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は17.4%です。

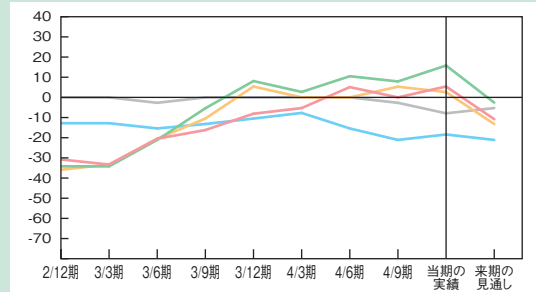
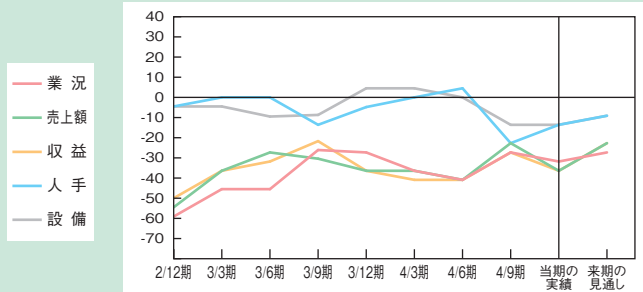
■県中南部

業況判断D.I.は5.4(前期比+5.4)と上昇!

各D.I.は、売上額15.8(前期比+7.9)と上昇するなか、収益については2.6(同△2.7)とプラスを維持していません。原材料・仕入価格は36.4(同△10.7)と上昇感が残り、販売価格についても11.1(同△2.8)とプラスを維持しています。人手過不足は△18.4(同+2.7)と不足を示す一方、前期比残業時間は△2.6(同±0.0)と減少を示しています。設備の状況は△7.9(同△5.2)と不足を示し、設備投資実施企業割合は2.7%です。

予想業況判断D.I.は△10.8(今期比△16.2)の見通し!

予想D.I.は、売上額△2.6(今期比△18.4)、収益についても△13.2(同△15.8)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は27.3(同△9.1)と上昇感が残る見通しであり、販売価格についても8.3(同△2.8)とプラスを維持する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は7.9%です。



建設業

業況判断D.I.
△9.0

予想業況判断D.I.
△9.0

回答企業 67社(回答率89.3%)
県南西部 24社/県中南部 43社

今期の実績

■県南西部

業況判断D.I.は△16.7(前期比±0.0)と停滞!

各D.I.は、売上額△12.5(前期比+4.2)、収益についても△16.7(同+4.1)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は83.3(同+12.5)と高騰が続くなか、販売価格については20.8(同±0.0)と上昇が続きます。人手過不足は△29.2(同△20.9)と不足感が増し、前期比残業時間は8.3(同+8.3)と増加を示しています。設備の状況は△12.5(同△12.5)と不足を示し、設備投資実施企業割合は0.0%です。

来期の見通し

予想業況判断D.I.は△25.0(今期比△8.3)の見通し!

予想D.I.は、売上額△16.7(今期比△4.2)と低下する見通しとなるなか、収益については△12.5(同+4.2)とマイナス域に留まる見通しです。人手過不足は△29.2(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施予定企業割合13.0%です。

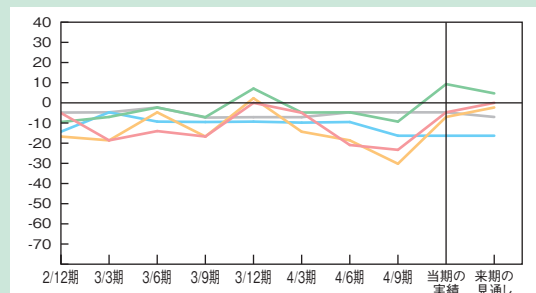
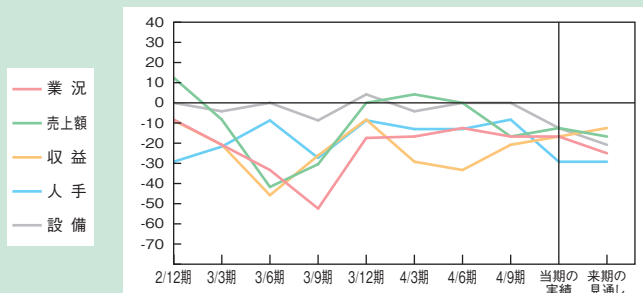
■県中南部

業況判断D.I.は△4.7(前期比+18.6)と回復に向かう!

各D.I.は、売上額9.3(前期比+18.6)とプラスに転じるなか、収益については△7.0(同+23.2)とマイナス域ながら改善が見られます。原材料・仕入価格は48.8(同△10.7)と上昇感が残り、販売価格については11.9(同+4.8)と上昇しています。人手過不足は△16.3(同±0.0)と不足を示す一方、前期比残業時間は△2.3(同+2.4)と減少を示しています。設備の状況は△4.7(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施企業割合は7.0%です。

予想業況判断D.I.は0.0(今期比+4.7)の見通し!

予想D.I.は、売上額4.7(今期比△4.6)とプラスを維持する見通しとなるなか、収益については△2.3(同+4.7)とマイナス域に留まる見通しです。人手過不足は△16.3(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施予定企業割合は4.7%です。



不動産業

業況判断D.I.
△3.9

予想業況判断D.I.
△15.7

回答企業 51社 (回答率89.5%)
県南西部 13社 / 県中南部 38社

■県南西部

業況判断D.I.は△7.7(前期比△23.1)とマイナスに転じる!

各D.I.は、売上額0.0(前期比±0.0)と停滞するなか、収益については0.0(同+7.7)と上昇しています。仕入価格は0.0(同±0.0)と変化は見られず、販売価格については0.0(同△10.0)と上昇が止まりました。資金繰りについては15.4(同+7.7)と上昇しています。人手過不足は0.0(同±0.0)と適正を示し、前期比残業時間については0.0(同±0.0)と変化がないことを示しています。

予想業況判断D.I.は△7.7(今期比±0.0)の見通し!

予想D.I.は、売上額△7.7(今期比△7.7)、収益についても△7.7(同△7.7)と、ともに低下する見通しです。仕入価格は0.0(同±0.0)、販売価格についても0.0(同±0.0)と、ともに今期並みとなる見通しです。

■県中南部

業況判断D.I.は△2.6(前期比+13.6)と回復に向かう!

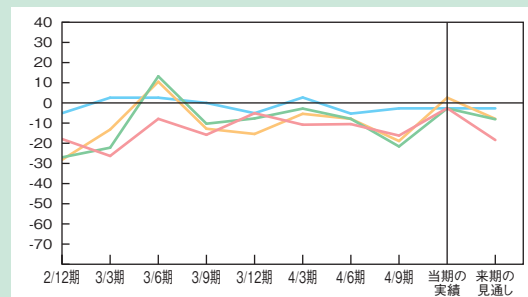
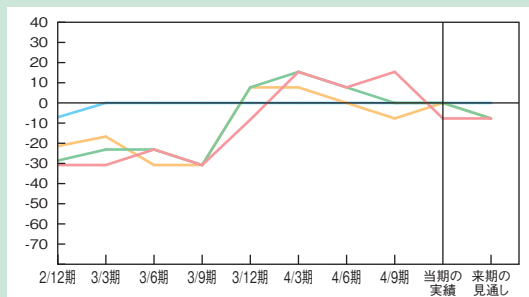
各D.I.は、売上額△2.7(前期比+18.9)とマイナス域ながら改善が見られ、収益については2.6(同+21.5)とプラスに転じています。仕入価格は22.2(同+2.8)、販売価格についても18.9(同+10.6)と、ともに上昇しています。資金繰りについては△5.3(同+8.2)とマイナス域が続いています。人手過不足は△2.7(同±0.0)と不足を示し、前期比残業時間については0.0(同+2.7)と変化がないことを示しています。

予想業況判断D.I.は△18.4(今期比△15.8)の見通し!

予想D.I.は、売上額△8.1(今期比△5.4)と低下する見通しであり、収益については△7.9(同△10.5)とマイナスに転じる見通しとなっています。仕入価格は22.2(同±0.0)、販売価格についても18.9(同±0.0)と、ともに今期並みとなる見通しです。

今期の実績

来期の見通し



調査員のコメントから

- 原油・原材料の高騰により収益がやや減少となっている。(南西部・物流機器製造業)
- 海外向け医療機器受注が好調である。反面、一部部材の仕入が困難な状況が続く、価格も上昇している。(中南部・プリント基板製造業)
- 10月に販売価格を上げている商品と、据置きしている商品がある。同業他社が値上げをして、そこから流れて来店されているお客様もいて、売上が伸びている商品もある。(南西部・飲食店)
- 催事の減少、雨予報による行事の中止等により売上が減少している。(中南部・菓子製造小売業)
- 自動車の産業構造が変化し、EV化が進んでいる。マフラー、エンジン、タンク関係の生産が減少している。(南西部・自動車用生産設備設計業)
- 今年は新型コロナウイルス感染症の影響が比較的落ち着いたのか、イベント等の再開が増えたため、利用客が増加した。(中南部・理美容業)
- 地公体工事はやや減少気味だが、1月の入札は期待している。財務は厳しい状況だが、借入なしで資金繰りは回せる見通しである。しかし、材料価格の高値止まりが収益を圧迫している。(南西部・土木工事業)
- 受注は増加しているものの、仕入価格も増加している。(中南部・建設業)
- 商品物件仕入減少に伴い、売上高もやや減少している。(南西部・不動産業)
- 12月に商品物件売却により売上・利益増加となった。(中南部・不動産業)

調査の要領

- 1.調査時点 令和4年12月1日～令和4年12月7日
- 2.調査方法 原則として、当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
- 3.調査地域 当金庫本支店のある地区を以下の2地域に区分した地域

県南西部ブロック	大磯町、二宮町、中井町、小田原市下中地区
県中南部ブロック	平塚市、茅ヶ崎市、伊勢原市、厚木市

- 4.分析方法 D.I.判断指数を中心に分析
(D.I.: 調査企業による5段階の評価における「増加(A+B)」の全体構成比と、「減少(D+E)」の構成比との差)

増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
A %	B %	C %	D %	E %

中南信用金庫

<http://www.chunan-shinkin.co.jp>